

ニュースリリース

報道関係者各位

平成 14 年 3 月 25 日
グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社
XML 技術者育成推進委員会 事務局

グローバルナレッジ開発の「XML テクニカルオーバビュー」が XML 技術者認定制度「XML マスター」の認定コースに

IT教育の大手専門企業、グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社(東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー34F、代表取締役社長:尾藤 伸一、以下グローバルナレッジ)は、XML技術者育成推進委員会(会長:斎藤信男、事務局:東京都品川区 以下、委員会)の推進するXML技術者認定制度『XMLマスターベーシック』のコース認定を受けたことを発表いたします。認定を受けたコースは、グローバルナレッジがオリジナル開発した「XMLテクニカルオーバビュー」コースです。委員会はグローバルナレッジを『XMLマスター』の運営母体である「XML技術者育成推進委員会」の「理事会員」として認定し、XML技術者育成に関する情報共有、販売促進支援など全面的に支援します。

グローバルナレッジは2000年5月より本コースを実施しており、特に1社向けの企業研修において導入され好評を博しております。2001年度には 2,000名の受講実績をあげ、今後はさらに、年間約1,500名の受講を目指しています。

2002年4月中旬には「XMLマスター概要&資格対策」無料セミナーも開催予定です。

グローバルナレッジは1995年12月設立以来、独立系としては業界最大規模の技術教育専門プロバイダとして数多くの企業様向けにMicrosoft Windows, Java, Linux, Cisco, Oracle, ネットワークなどの技術教育を展開してきました。今回の『XMLマスター』コース認定により、本コースは高い信頼性の評価をうけるとともに、XML技術者育成に貢献できるものと確信します。

～～ 記 ～～

「XMLテクニカルオーバビュー」

「XMLマスター:ベーシック」資格取得を目指す方を対象に、XMLの概念、データの記述や運用事例など、XMLの基礎技術について学習することができます。

内容: ・XML概要 ・XMLの利用 ・文書型定義(DTD) ・スキーマ ・スタイルの指定
・XML関連技術

受講料: 88,000円(消費税別)

期間: 2日間 9:30～16:30

会場: 東京(市ヶ谷会場)、大阪

(この他 双方向・同期型インターネット上クラスルーム「V-Class」でも開催)

お問い合わせ:

◆グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社

hotline@globalknowledge.co.jp (電子メール)

<http://www.globalknowledge.co.jp/> (Webサイト)

03-5353-0605 (電話)

川村 (広報担当)

◆XML技術者育成推進委員会事務局 (インフォテリア内)

office@xmlmaster.org (電子メール)

<http://www.xmlmaster.org/> (Webサイト)

090-8878-7331 (電話)

吉政(よしまさ) (担当)

*掲載された社名、製品名は、各社の商標及び登録商標です。

●グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社

Global Knowledge Network, Inc.はIT教育のリーディングカンパニーとして、Blended Learning Solutionsに基づくITプロフェッショナル教育を提供しています。ワールドワイドで20カ国50以上のエデュケーションセンターを持ち、年間受講人数は23万人です。

グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社はグローバルナレッジの日本法人であり、エデュケーションセンター3ヶ所、提供するコースは200種類以上、社員142名。日本においては企業向けのIT教育を主として受講実績は年間1万8千名以上です。

詳細は、弊社のホームページ(<http://www.globalknowledge.co.jp/>)をご覧ください。

XML マスターについて

『XML マスター』は、XML のスキルを持った技術者の幅広い育成を目標に発足された認定制度です。現場で役に立つ XML 技術者の育成のための適切な試験範囲と問題内容の審査を行う諮問機関として XML 技術者育成推進委員会が存在します。『XML マスター』の称号により、XML 技術力に対する確かな指標を提供し、現在各分野で深刻化している幅広い知識を持った XML 技術者の不足という問題の解決を促進します。詳細はこちら：<http://www.xmlmaster.org/>

● XML 技術者育成推進委員会について

XML 技術者育成推進委員会(会長:斎藤信男 慶應義塾大学常任理事 兼 W3C Associate Chairperson)は、以下の企業および団体によって構成されます。

XML コンソーシアム

(会長:鶴保 征城 NTT ソフトウェア株式会社 代表取締役社長、会員企業:200 社)

外資系情報産業研究会(略称:FIIF)

(会長:渡辺邦昭 日本アリバ株式会社 CEO 兼代表取締役会長、会員企業:32 社)

インフォテリア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野 洋一郎)

NEC ソフト株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:関 隆明)

株式会社大塚商会(本社:東京都千代田区、取締役社長:大塚 裕司)

株式会社日立システムアンドサービス(本社:東京都大田区、社長:名内泰藏)

株式会社PFU(東京本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:片野英司)

キャンノンソフトウェア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:岡田 明)

シーアイエス株式会社(東京都港区、代表取締役社長:戸高 修)

日本電気株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:西垣 浩司)

富士通株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:秋草 直之)

《新規加入》

グローバル ナレッジ ネットワーク株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:尾藤 伸一)